

秘

大正九年三月五日 決議  
會議議案

北海道ニ於ケル衆議院議員ノ選舉ニ必要ナル大正  
九年ニ於テ調製スル選舉人名簿ニ關スル特例ノ件

勅令第 號

北名簿一

衆議院議員選舉法第百十條ノ規定ニ依  
リ北海道廳根室支廳管内國後郡紗那郡  
振別郡擇捉郡及襟取郡ニ於テ大正九年  
ニ於テ初テ調製スル衆議院議員選舉人  
名簿ニ關シ左ノ特例ヲ設ク  
北海道廳支廳長選舉人名簿縦覽期間内

ニ名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ殘期間  
之ヲ縦覽ニ供スヘシ縦覽期間内ニ名簿  
ノ送付ヲ受ケサルトキハ之ヲ縦覽ニ供  
スルコトヲ要セス

北海道衆議院議員選舉特例第四條ノ期  
間ヲ十五日内トス

投票管理者ニ於テ北海道衆議院議員選

北名簿ニ

舉特例第十一條ノ規定ニ依ル報告ヲ為  
ストキハ併セテ選舉人名簿ニ記載セラ  
レタル者ノ數ヲ報告スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

参照追加

衆議院議員選挙法

現行法  
改正案

対照

衆議院議員選舉法 改正法案 對照

(小字及——ハ改正案)

第三條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部<sup>又ハ役場事務</sup>ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做ス

第五條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル

郡市長ハ開票管理者トナリ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第六條 <sup>郡市長</sup>地方長官ハ選舉長トナリ選舉<sup>會</sup>ニ關スル事務ヲ統轄<sup>擔任</sup>ス

一 選舉區數郡市ニ涉ルトキハ地方長官ハ關係郡市長ノ一人ヲシテ選舉長タラシムヘシ

第八條 左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

- 一 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者
- 二 選舉人名簿調製ノ期日<sup>延引</sup>前滿<sup>續キ六箇月</sup>一年以上<sup>同一</sup>其ノ選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者

三 選舉人名簿調製ノ期日延引續キ前滿一年以上土地租十四以上又ハ滿二年以上土地租以外ノ直接國稅三十圓

以上●若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ仍引續キ納ムル者

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者●ハ其ノ財産ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ

者ノ納稅シタルモノト看做ス

第九條 前條ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第十一條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

一 禁治產者及準禁治產者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者及家資分散若ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シ

タルトキヨリ復權ノ決定確定スルニ至ル迄ノ者

三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者  
剝奪公權者及停止公權者

四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十三條 神官、神職、僧侶其ノ他諸宗教師、小學校教員ハ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後

三箇月ヲ經過セサル者亦同シ

政府ノ請負ヲ爲ス者●又ハ主トシテ政府ノ請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セス

前項ノ役員トハ兼起人、取締役、監査役及之ニ準スル者及清算人ヲ謂フ

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ

選舉人名簿正副二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ副本ハ十月三十一

日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ市内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日

迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、官位、職業、身分、住所、生年月●納稅額及納稅地等ヲ記載スヘシ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票  
スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本  
人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ●立會人ト共ニ●投票ノ翌日迄ニ●投票函、  
投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況ア  
ルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人  
名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ  
行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長●●經テ地方長官ニ其ノ由ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ

更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クテモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムハ  
シ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投  
票所閉鎖後ハ此ノ限ニ在ラス

第六章 選舉會 開票及開票所

第五十一條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル  
開票所ハ郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設  
ク

第五十二條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時  
開票管理者ハ豫メ開票所ヲ告示スヘシ

第五十三條 地方長官ハ各開票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任  
シ開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ立會人ト共ニ投票ノ翌日迄ニ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

投票録及選舉人名簿ヲ投票管理者ニ送致スヘシ

第四十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ投票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第四十四條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ニ其ノ由ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ選舉長ハ

更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムヘシ

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲シ得ルコトヲ得

更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムヘシ

第五十一條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル投票所ハ都市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得テ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第六章 開票及開票所

第五十二條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時開票管理者ハ豫メ開票所ヲ告示スヘシ

第五十三條 地方長官ハ各投票區内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ

開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス



第五十四條

選舉長ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人  
開票管理者ハ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日開票

立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第五十五條

前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調

査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第五十六條

選舉人ハ其ノ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條

投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スヘシ

第五十八條

左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用キサルモノ
- 二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ
- 三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シ

タルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 被選舉人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第七號ノ規定ハ第七十四條又ハ第七十八條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限り之ヲ適用ス

第五十九條

投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間開票管理者ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第六十條

開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票

録ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十一條

投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第六十二條

第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

第六十三條 選舉會場 開票所ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第七章 選舉會

第六十四條 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ於テ之ヲ開キ第六十一條ノ報告書ヲ調査ス

長ハ選舉會ヲ開キ他ノ開票管理者ノ報告書ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十五條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十六條 選舉長ハ各選舉區内ノ選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉立會人ヲ選任シ選舉會

開會ノ期日ヨリ少クトモ二日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ノ當日選舉會ニ參會セシムヘシ

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第六十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第六十

一條ノ報告書ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十八條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

第七十條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員定數ヲ以テ

選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

與ノ前後ヲ問ハス選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキ又ハ被

選舉權ヲ有セサル爲當選無効トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中

ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス

選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定ムル場合ニ於テハ選舉會ヲ開キ之ヲ定ムヘシ  
前項ノ場合ヲ除クノ外選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ  
當選人ヲ定ム

當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ其ノ當  
第七章ノ規定ハ前二項ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

選人第二項ノ規定ニ依リ當選人トナリタル者ナル場合ニ於テハ選舉會ヲ開キ其ノ規定ノ適用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ  
當選人ヲ定ムヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ第五十四條第五十五條第五十七條乃至第五十九條ノ規定ヲ適用セス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同シキトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ抽籤  
シテ其ノ順位ヲ定ム

### 第七十一條

當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ當選人ニ

●當選ノ旨ヲ ●同時ニ當選人ノ氏名、得

票數及選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數其ノ他選舉ノ顛末ヲ地方長官ニ報告スヘシ

當選人ナキトキ又ハ當選人議員ノ定數ニ達セザルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

### 第七十二條

當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ選舉長ニ届出ツヘ

シ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

選舉長第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

### 第七十四條

左ニ掲ケル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ルトキ又ハ左ニ掲  
ケル其ノ他ノ事由ニ依リ若ハ第七十八條第四項ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外  
當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシ

ムヘシ

一 當選人ナキトキ又ハ當選人議員ノ定數ニ達セザルトキ

二 當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ

三 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選人ナキニ至リ又ハ當選人議員ノ定數ニ達セザルニ至リタルトキ

四 當選人選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無効トナリタルトキ

當選人議員ノ定數ニ達セザルトキハ地方長官ハ前項ノ例ニ依リ其ノ不足ノ員數ニ對シ選舉ヲ行

ハシムヘシ

第七十條第二項及第三項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ亦前二項ニ同シ

選舉訴訟若ハ當選訴訟  
第八十條及第八十二條ノ出訴期間ハ前項ノ規定ニ依ル  
本條ノ選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタルトキ裁判確  
定スルニ至ル迄ノ間亦同シ

第七十八條 議員ニ關員ヲ生シタルトキハ内務大臣ハ地方長官ニ其ノ補闕ノ手續ヲ爲スルキ旨ヲ命スルハシ  
選舉ノ日ヨリ一箇年以内ニ議員ノ關員ヲ生シタルトキハ第七十條ノ例ニ依ル

地方長官ハ第七十四條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキハ除ク外前項ノ規定ニ依ル命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以  
前項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一箇年以後ニ議員ノ關員ヲ生シタルトキハ  
内ニ補闕選舉ヲ行ハシムルハシ但シ第七十條第二項ノ規定ニ依リ當選人トナラズハ議員關員トナリタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選  
地方長官ハ内務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行フヘシ

舉長ニ通知スルハシ

選舉長ハ前項但書ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第七十條第四項及第五項ノ規定ノ準用シ當選人ヲ定ムル

前項ノ補闕選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スヘシ

第七十四條第二項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

第八十二條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十五條ノ

氏名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但シ第七十條第一項但書ニ定メタル  
得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トシ第七十四條ノ告示ノ日  
ヨリ三十日以内ニ出訴スヘシ

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

當選訴訟ノ裁判確定前當選人死亡シタルトキハ檢事ヲ被告トス

第八十四條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ出訴アリタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ内務大臣ニ通知スルハシ訴訟ノ繁屬セサルニ至  
リタルトキ亦同シ

裁判所ニ於テ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ判決書ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付ス  
ヘシ若帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十六條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル者又ハ第三十四條第二項ノ場合ニ於  
テ虚偽ノ宣言ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金  
五十圓以下ノ罰金  
十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條

左ノ各號ニ掲ケル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
選舉ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ニ該當スル所爲アル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ

十四

處シ又ハ四十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ金錢、物品、手形其ノ他ノ財産上ノ利益又ハ公私ノ職

務ノ供與者ハ其ノ供與ノ約束ヲ爲シ又ハ其ノ供與ノ申込ヲ爲シタルトキ  
運動者ニ供與シ又ハ供與セムコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾セムコトヲ周旋勸

誘シタル者竝供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ酒食、遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス

接待若ハ其ノ餐應接待ノ約束ヲ爲シ又ハ其ノ餐應接待ノ申込ヲ爲シタルトキ  
受ケタル者又ハ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ヲ供給シ及其ノ供給ヲ

受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケタル者竝此等ノ約束ヲ爲シ又

ハ約束ヲ受ケタル者

三 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人ニ對シ投票所ニ往復スル爲船車馬ノ類ノ供給旅費宿泊料ノ類ノ代辨若ハ

權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其ノ誘導ニ應シタル者

四 議員候補者カ投票ヲ得ル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ選舉人若ハ選舉運動者又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會

社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害ノ關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

五 議員候補者若ハ選舉運動者カ投票ヲ爲サシメタル目的ヲ以テ又ハ選舉運動者カ議員候補者ノ爲ニ投票ヲ爲サシメタル目的

ヲ以テ第一號乃至第三號ノ供與餐應接待供給代辨若ハ其ノ約束ヲ爲シ又ハ第一號乃至第三號ノ申込若ハ前號ノ誘導ヲ爲シ

タルトキ

六 議員候補者又ハ選舉運動者カ議員候補者ヲシテ議員候補者タルコトヲ止メシメ又ハ選舉運動者ヲシテ選舉運動ヲ止メシ

ムル目的ヲ以テ其ノ者ニ對シ第一號ノ供與其ノ約束若ハ其ノ供與ノ申込ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ者若ハ其ノ者ニ關

係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他利害關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

七 投票ヲ爲シ若ハ爲サルコト議員候補者タルコトヲ止メタルコト選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ

爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者又ハ選舉運動者カ選舉人、議員候補者又ハ選舉運動者ニ對シ第一號ノ供

與若ハ第二號ノ餐應接待、其ノ供與若ハ餐應接待ノ約束又ハ其ノ供與若ハ餐應接待ノ申込ヲ爲シタルトキ

十五

八 第一號乃至第三號前三號ノ供與費應接待供給代辨ヲ受ケ若ハ要求シ又ハ第一號乃至第三號前三號ノ申込ヲ承諾シ若ハ第  
四號乃至第六號ノ誘導ニ應シタルトキ

九 第一號乃至前號ニ揭クル行為ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ沒收シ既ニ費用シタルモノハ其ノ價●ヲ追徴ス  
利益  
コト能ハサルトキハ  
●類

第八十八條 ●選舉ニ關シ 揭クル行為ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス  
●左ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ 五圓以上百圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

一 選舉人、議員候補者又ハ選  
●若ハ  
選舉ニ關シ選舉人ニ暴行●脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

二 選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ケ又ハ詐偽ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サ  
タルトキ  
シメタル者

三 選舉ニ關シ選舉人●又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權

●其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ●選舉人●ヲ威逼シタル者  
議員候補者又ハ選舉運動者  
議員候補者又ハ選舉運動者  
議員候補者又ハ選舉運動者  
議員候補者又ハ選舉運動者

第八十九條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人及監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名

ヲ表示シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス  
二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

シタル事實處偽ナルトキ亦同シ  
選舉運動者又ハ選舉運動者  
選舉運動者又ハ選舉運動者  
選舉運動者又ハ選舉運動者  
選舉運動者又ハ選舉運動者

官吏又ハ吏員兼テ職權ヲ濫用シ選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示ヲ強要シタルトキハ三  
月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ

氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金  
一年以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金

ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ五百圓以  
下ノ罰金ニ處ス

第九十一條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場

開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取シタル者ハ四月以下ノ禁錮  
以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス

多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕禁錮ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者  
ハ一月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第九十二條

多衆集合シテ第八十八條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス  
選舉人、議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場、開票所、投票所ヲ騷擾シ

又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞、奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ嘯聚シタル者ハ六  
月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス其ノ情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ十五日以上三月以下  
ノ輕禁錮ニ處ス

一 首魁ハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八十八條第二號又ハ前條ノ罪ヲ犯ス爲多衆集合シ當該公務員ヨリ解散ノ命ヲ受ケルコト三回以上ニ及ツモ仍解散セサルト  
犯罪者第九十二條ノ物件ヲ携帶シタルトキハ各本刑ニ一等ヲ加フ

ハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第九十三條

選舉人、議員候補者及選舉運動者ニシテ選舉ニ關シ銃砲、槍戟、刀劍、竹槍、棍棒其ノ

他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金  
二年以下ノ輕禁錮又ハ五百圓以上二百圓以下ノ

罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第九十四條

前條記載ノ物件ヲ携帶シテ選舉會場、開票所若ハ投票所ニ入りタル者ハ前條ノ例ニ

又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
依リ一等ヲ加フ

第九十五條

選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、

篝火、松明ノ類ヲ用キ若ハ鐘鼓、法螺、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用ウル等ノ所爲ヲ  
爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又

ハ五回以上百回以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 第八十九條乃至第九十五條ノ所爲ヲ爲サシムルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙、雜誌

引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス人ヲ教唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷ス但

シ新聞紙、雜誌ニ在リテハ仍其ノ署名シタル編輯人ヲ處斷ス

第九十七條 當選ヲ妨クルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テ

スルニ拘ラス議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタル者ハ六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十回

以下ノ罰金ヲ附加ス新聞紙、雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

第九十八條 選舉人タルコトヲ得サル者ニシテ投票ヲ爲シタル者及氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタ

ル者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十回以上百回以下ノ罰金ヲ附加ス

氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者又ハ投票ノ偽造シ若ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ三百回以下ノ罰金ニ處ス

選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ三年以下ノ禁錮又ハ五百回以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五十回以上五十回以下ノ

罰金ニ處ス

第一百條 第九十二條第二項第九十三條及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シ

タル物件ヲ沒收ス

第一百一條 當選人其ノ選舉ニ關シ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ

無効トス

第一百二條 本章ニ揭クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタルモノニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間禁錮以

上ノ刑ニ處セラレタルモノニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ終ル迄又ハ刑ノ時効ニ因ル場合ヲ除クノ外刑ノ執行ノ免

除ヲ受クル迄ノ間及其ノ後五年間選舉權及被選舉權ヲ有セス禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノニ付其ノ裁判確定ノ後刑ノ執

行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同シ



前項ノ規定ハ第十一條第三號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セス

第六百六條

郡長ヲ置カサル地ニ於テハ本法中郡ニ關スル規定ハ島司北海道廳支廳長其ノ他郡長ニ準スヘキ者ノ管轄區域  
町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法ニ規定シタル町村長ノ職務ハ戶長又ハ之ニ準ス  
ニ、郡長ニ關スル規定ハ島司北海道廳支廳長其ノ他郡長ニ準スヘキ者ニ、郡役所ニ關スル規定ハ島司北海道廳支廳其ノ他郡役  
所ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

市制第六條ノ市又ハ沖繩縣若ハ北海道ノ區ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關ス

島司ヲ於ケル島嶼ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ島司之ヲ掌リ其ノ島司ナキモノニ於  
ル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス

テハ郡長ニ準スヘキ者之ヲ掌ル

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ  
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ本法中市トアルハ區、市長トアルハ區長、市役所トアルハ區役所ニ

者ニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス  
該當ス

第六百七條

立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セサルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ缺キタル

トキハ投票管理者、開票管理者、選舉長ハ臨時ニ選舉人ノ中ヨリ立會人ヲ選任スヘシ

第六百十一條

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ之ヲ適用セス  
本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道札幌、旭川、釧路、網走、紋別、小樽、稚内、根室、釧路、網走、紋別、小樽、稚内、根室沖繩縣ニ付テハ勅令ヲ以テ

ノ刑ニ、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス  
別ニ施行ノ期日ヲ定ム

第六百十二條

明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ之ヲ適用セス  
本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ付必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限リ第十八條乃至

第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

但シ其ノ選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ效力ヲ有ス

第六百十三條 本法ハ東京府小笠原島嶼北海道廳根室支廳管内古守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ當分ノ内之ヲ施行セス

(別表略)

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スルニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十八條乃至第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ニ規定ス  
ル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定ノ日迄其  
ノ效力ヲ有ス

秘

明治三十三年法律第七十三號衆議院  
議負選舉法施行令中改正ノ件外三件  
審査報告

謹テ今回御諮詢ノ明治三十三年法律第七十三  
號衆議院議負選舉法施行令中改正ノ件外三件  
ヲ審査スルニ各案ノ要旨ハ略左ニ解説スル所  
ノ如シ

第一 明治三十三年法律第七十三號衆議院議  
負選舉法施行令中改正ノ件

本案ハ大正八年法律第六十號ヲ以テ公布セ

ラレタル衆議院議員選舉法中改正法律ニ於  
テ大選舉區制ヲ改メテ小選舉區制ト爲シ且  
選舉事務ニ關スル條項ニ若干ノ改正ヲ加ヘ  
タルニ伴ヒ又從來ノ實驗ニ徴シ他ノ成例ニ  
準シテ衆議院議員選舉法施行令ニ相當ノ改  
正ヲ施サムトスルモノナリ

(一)先ツ前記改正法律ニ於テ小選舉區制ヲ採  
用シタルニ伴フ本案改正ノ項目ヲ舉ゲム  
ニ小選舉區制ニ於テハ選舉區ノ區域小ナ  
ルカ故ニ從來之ト投票區トノ間ニ都市ノ

二

區域ニ依リテ設ケタル開票區ナルモノヲ  
存スルノ必要ナク從來所謂開票ニ關  
スル事務ハ選舉會ニ關スル事務ト合セテ  
之ヲ行ハシム即チ從來郡市長カ開票管理  
者ト爲リテ開票ニ關スル事務ヲ執リ地方  
長官カ選舉長ト爲リテ選舉ニ關スル事務  
ヲ執リタルヲ改メ郡市長カ直ニ選舉長ト  
爲リテ所謂開票及選舉會ニ關スル事務ヲ  
掌ル其ノ結果本令ニ於テ

(1)同一市内ニ二箇以上ノ投票區ヲ設ケタ

ル場合投票管理者カ投票函等ヲ開票管理  
者ニ送致シ市ノ開票所ニテ開函スルノ條  
項(施行令第二條第四號及第五號)ハ其ノ儘存  
置スルコトヲ得ス而シテ選舉法ニ於テ同  
一ノ場合投票函等ヲ選舉長ニ送致シ選舉  
會ニテ開函スヘキモノト為シタルカ故ニ  
(選舉法第四十二條及第五十四條)前記本令  
ノ條項ハ之ヲ削除シ

(四)從來選舉長トアルヲ地方長官ト為シ郡  
市長トアルヲ選舉長關係郡市長ト為シ(施

行令第二十一條第一項第二十八條第三十  
條(開票管理者トアルヲ選舉長ト為シ開票  
立會人トアルヲ選舉立會人ト為シ(同第二  
十二條第二十三條第二十四條第二十五條  
第二十六條第三十條第三十六條)開票期日  
トアルヲ選舉會ノ期日ト為シ(同第二十八  
條)開票管理者カ開票ノ期末ヲ選舉長ニ報  
告スルコトニ關スル規定ヲ削リ(同第二十二  
條第一項)或ハ條項ニ於テ開票所及開票  
立會人トアルヲ削リ(同第三十條第三十二

條郡市ノ區域ニ屬セサル島嶼ニ於ケル開  
票區ノ區域ニ關スル規定ヲ削リ(同第三十  
五條)

(ハ)選舉長ヲ選舉會ノ際選舉人名簿ノ正本  
及副本ヲ保有セシムル為選舉法ニ於テ投  
票管理者ヨリ同名簿ノ正副本ヲ選舉長ニ  
送付スヘキモノト為シタルニ伴ヒ(選舉法第  
四十二條本令ニ於テ一選舉區カ數郡市ニ  
涉ルトキ選舉長ニ非サル郡長ハ選舉會開  
會前ニ選舉人名簿ノ正本ヲ選舉長ニ送付

スヘキモノトシ(施行令第二十二條ノ三選  
舉長カ選舉ノ顛末ヲ地方長官ニ報告シタ  
ル後選舉人名簿正本及副本ヲ各關係郡市  
町村長ニ返付スヘキモノトシ(同第二十六  
條)

(ニ)郡市長カ選舉長トシテ投票ノ點檢ヲ終  
リタル後各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀スル  
ニ當リテ一選舉區カ數郡市ニ涉ルトキハ  
各郡市別得票數及得票總數ヲ朗讀スヘキ  
旨ノ條項ヲ加ハ(同第二十四條但書)從來地

方長官カ選舉長トシテ各得票者ノ開票區  
別得票數及得票總數ヲ朗讀スルコトノ規  
定ヲ削リ(同第二十七條)

(ホ)當選人カ成規ノ期間内ニ當選ノ承諾ヲ  
選舉長ニ屈出テサルトキハ其ノ旨ヲ選舉  
長ヨリ地方長官ニ報告スル旨ノ規定ヲ追  
加ス(同第二十八條ノ二)

(二)次ニ前記改正法律ニ於テ選舉ノ當日投票  
所ニ備付クヘキ投票簿ヲ廢止シタルニ伴  
ヒ(選舉法第三十四條)本令ニ於テ投票簿ニ

關スル條項ヲ削除シ(施行令第十四條第十  
八條第二十九條)又同法ニ於テ投票所ノ秩  
序ヲ紊ルニ因リ投票所外ニ退出セシムル  
ル者ハ必スシモ最後ヲ待タズ秩序ヲ紊ル  
ノ虞ナキニ至リタルトキ投票ヲ為シシム  
ルコトヲ得トセルニ伴ヒ(選舉法第五十條)  
本令ニ於テ之ヲシテ最後ニ非サレハ投票  
ヲ為サシメサル手續ノ規定ヲ削除ス(施行  
令第十九條)

(三)選舉人名簿調製期日後ニ選舉人カ其ノ投

票區域外ニ住所ヲ移シタル場合ニ於テ前  
住所地ノ投票所ニテ投票ヲ為サシムルコ  
トハ從來法令ノ解釋ニ於テ之ヲ許容シタ  
ルモ疑義ナカラシムル為之ヲ本令中ニ明  
定ス(同第四條ノ三)

(四) 數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設ケタル  
トキ町村費ヲ以テ支辨スヘキ共同ノ費用  
ハ之ヲ各町村ニ平分スヘキ旨ノ規定アル  
ヲ擴張シ選舉ニ關スル費用ニシテ二以上  
ノ行政廳ノ支辨ニ屬スヘキモノハ之ヲ平

分シテ負擔スヘク唯當該行政廳ノ經費カ  
同一經濟ニ屬スルトキハ一行政廳ノ經費  
ヲ以テ之ヲ支辨スヘキモノトス(同第三十  
一條)是レ實際ノ情況及便宜ニ基ク改正ナ  
リ

(五) 選舉法ニ於ケル直接國稅ハ從來地租所得  
稅營業稅及賣藥營業稅ノ四種ニ限リタル  
モノ之ニ鑛業稅及砂鑛區稅ヲ加フ(同第三十  
三條)是レ既ニ府縣制及郡制ノ下ニ於テ認  
ムル所ニシテ又主要稅種ノ間ニ均衡ヲ保

ツ所以ナリ

(六) 本令ノ名稱ニ於テ明治三十三年法律第七十三號トアル冠字ヲ省クハ改正選舉法ノ施行令タルコトヲ示スニ過キス選舉人ヲシテ本人ナル旨ヲ宣言セシメタルトキ其ノ記録ニ本人ノ署名ヲ求ムルニ止メ捺印ヲ略スルハ投票所ノ印類携帶ヲ省キ且處務ノ簡捷ヲ得ムトスルモノナリ同第十七條又本令第三十八條ヲ削除スルハ其趣旨選舉法第百六條ニ追加セラレ本令第三十七條ニ於テ之ヲ準用スルハ故ニ其ノ存置ノ必要ナキニ由ル

七

## 第二 北海道衆議院議員選舉特例

前記改正法律ニ於テ本法ノ施行區域ヲ擴張シ北海道廳根室支廳管内千島ノ中國後紗那振別擇捉及葉取ノ五郡ニ之ヲ適用スルコトトシタルモ(選舉法第百十三條)同地方ハ交通極メテ不便ニシテ到底一般ノ例ニ依ルコト能ハサル事情アリ然ルニ幸ニ選舉法第百十條ニ北海道ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得トアリ本案ハ選舉法ノ此ノ條項



ニ基キテ上掲千島五郡ニ於ケル選挙ニ關シ  
一般ノ規定ニ依リ難キ事項ニ付特例ヲ定メ  
ムトスルモノニシテ其ノ要領左ノ如シ

(一) 戸長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ選挙人  
名簿正副二本ヲ調製スヘキコト一般ノ例ニ  
同シキモ十月十五日ノ期限ニ拘ラス速ニ然  
カモ副本ヲ添ヘスシテ其ノ正本ノミヲ所轄  
支廳長ニ送付シ支廳長カ該名簿ヲ修正シタ  
ルトキハ其ノ由ヲ名簿縦覽開始ノ前日迄ニ戸長ニ  
通知シテ其ノ副本ヲ修正セシムヘキモノトス(第二條)

(二) 選挙人カ選挙人名簿ニ脱漏誤載アリ又ハ  
登録セラレズト為スニ因ル申立ハ支廳長ニ對シ  
テ為スノ例ニ依ラヌシテ戸長ニ對シテ之ヲ為  
シ(第三條) 戸長ハ其ノ當否ヲ決定シ之ヲ正  
當ナリトスルトキハ直ニ名簿ノ副本ヲ修正シ  
通知及告示ヲ為シ且其ノ由ヲ支廳長ニ  
報告シ支廳長ヲシテ名簿ノ正本ヲ修正スル  
コトヲ得シメ又該申立ヲ正當ナラヌトスル  
トキハ之ヲ申立人ニ通知スヘキモノトス第  
四條) 而シテ戸長ノ決定ニ不服アル申立人及

關係人ハ戸長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケ  
タル日ヨリ三十日以内ニ地方裁判所ニ出訴  
スルコトヲ得ルモノトシ(第五條)確定判決ニ  
依リ選舉人名簿ヲ修正スヘキトキハ戸長ニ  
於テ直ニ其ノ副本ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示  
シ且其ノ由ヲ支廳長ニ報告シテ名簿ノ正本  
ヲ修正スルコトヲ得シムハキモノトス(第六  
條)

(三) 戸長カ選舉人名簿副本ノ再校閱ヲホムル  
為之ヲ支廳長ニ送付スルノ手續ハ勿論之

ヲ省畧ス(第七條)

(四) 投票ヲ為サムトスル者ニ對シ其ノ資格ナ  
シト為シテ投票ヲ拒否スルコトハ投票管理  
者タル戸長ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ  
終局的ニ之ヲ決定スルモノトシ從テ投票所  
ニ於テ選舉人ヲシテ假ニ投票ヲ為サシメ選  
舉會ニ於テ其ノ拒否ヲ決定スルノ手續ヲ採  
ルコトナシ(第七條)

(五) 戸長ハ投票ノ翌日投票所ニ於テ投票函ヲ  
開キ投票ヲ計算點檢シ且其ノ效力ヲ決定ス

即チ此等ノ事項ニ付テハ戸長ヲシテ選舉長ノ職務ヲ行ハシメ從テ投票立會人ヲシテ選舉立會人ノ職務ヲ行ハシムルモノトス(第八條)而シテ戸長ハ投票ノ點檢ヲ終リタルトキ各被選舉人ノ得票數ヲ朗讀シ(第九條)直ニ之ヲ選舉長ニ報告シ(第十一條)點檢済投票ノ有效無效ヲ區別シテ之ニ封印ヲ施シ(第十條)以上ノ手續ニ關スル顛末書ヲ作製シ投票録及投票下併セラ之ヲ選舉長ニ送致スヘキモノトス(第十二條)戸長カ此等ノ手續ヲ履行スルニ

當リテ選舉人ハ其ノ悉觀ヲホムルコトヲ得ヘク(第十三條)從テ戸長ハ該手續ヲ履行スル日時ヲ豫メ告示スヘキモノトス(第十四條)尚天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ上記ノ手續ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ之ヲ行フノ必要アルトキハ支廳長ハ戸長ノ届出ニ基キ更ニ期日ヲ定メテ其ノ手續ヲ行ハシムヘキモノトス(第十五條)

(六)選舉長タル支廳長ハ十島五郡ノ投票管理者ヨリ各被選舉人得票數ノ報告ヲ受ケ其ノ

他ノ投票管理者ヨリ投票函ノ送致ヲ受ケ其  
ノ總テ到達シタル翌日選挙會ヲ開キ投票ニ  
付テハ一般ノ規定ニ依リ其ノ混同點檢ヲ為  
シ報告ニ付テハ之ヲ調査シ毎投票區得票者  
ノ氏名及得票数ヲ朗讀スヘキモノトス(第十  
六條)而シテ千島五郡ニ於ケル選挙ノ一部無  
效ト為リ更ニ選挙ヲ行ヒタル場合ニ於ケル  
右ノ選挙會ニ在リテハ再選挙ニ屬スル投票  
管理者ノ報告ノミヲ調査スヘキモノトス(第  
十七條)又支廳長ハ戸長ヨリ送付セラレタル

報告書、願末書及封印ノ儘ナル投票ヲ議員ノ  
任期間保存スヘキモノトス(第十八條)

(七)投票立會人カ正當ノ事故ナクシテ本令所  
定ノ義務ヲ缺キタルトキハ五十圓以下ノ罰  
金ニ處スヘキモノトス但シ選挙會ノ例ニ依  
リ點檢済投票ニ封印ヲ施スコトヲ為サザリ  
シトキヲ除ク(第十九條)

第三 大正九年ニ於ケル衆議院議員總選舉ニ  
必要ナル選舉人名簿ニ関スル期日及期間ヲ  
定ムル件

衆議院議員ノ選舉資格其ノ他選舉人名簿ニ  
関スル規定ニ變更ヲ加ヘタル前記改正法律  
ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行スルコト為リ  
居ルヲ以テ今回解散ノ結果近ク行ハルハキ  
總選舉ニ對シテハ新ニ選舉人名簿ヲ調製セ  
サルハカラス然ルニ事急ナルカ故ニ該名簿  
ニ関スル期日及期間ニ付テハ選舉法所定ノ

十二

一般ノ例ニ依ルコト能ハス既ニ前記改正法  
律附則第二項ニ於テ此ノ場合ニ對スル臨機  
ノ處置トシテ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ  
期間ヲ定ムヘキモノトセリ本案ハ此ノ條項  
ニ基キテ新法ノ下ニ初テ行ハルル總選舉ニ  
必要ナル選舉人名簿ニ関スル期日及期間ニ  
付特別ノ規定ヲ設ケムトスルモノニシテ之  
ヲ一般ノ規定ト對照シ表ヲ以テ示セハ左ノ  
如シ

期日又ハ期間

選舉法ニ般規定

本案特別規定

選挙資格調査ノ期日

第十八條第一項及第三項  
毎年十月一日

本年三月十日

住所地市町村外ニ於テ直接國  
税納付ノ旨届出ノ期限

第十九條  
十月五日迄

三月十五日迄

町村長ヨリ郡長ニ選挙人名簿  
正本及副本ヲ送付スル期限

第十八條第一項  
十月十五日迄

三月二十四日迄

郡長ヨリ町村長ニ名簿ノ副本  
ヲ送付スル期限

同條第二項  
十月三十一日迄

三月三十一日迄

市長ヨリ名簿ヲ調製スル期限

同條第三項  
十月三十一日迄

三月三十一日迄

名簿ノ縦覧期間

第二十條  
十一月五日ヨリ十五日間

四月三ヨリ十日間

名簿ニ對スル異議ノ申立ヲ決  
定スル期間

第二十四條  
申立ノ後ケル日ヨリ二十日

同上十五日以内

町村長ヨリ郡長ニ名簿ノ副本ヲ  
送付スル期間

第二十六條第一項  
十一月二十ヨリ十二月十日迄

四月十三ヨリ同月二十迄

郡長ヨリ町村長ニ名簿ノ副本ヲ  
送付スル期限

同條第三項  
十二月二十日迄

五月四日迄

名簿確定ノ期日

第二十七條第一項  
十二月二十日

五月四日

選舉資格調査ノ期ヨリ名簿  
確定ノ期日迄ノ日数

八十一日

五十六日

第四 北海道ニ於ケル衆議院議員ノ選舉ニ必  
要ナル大正九年ニ於テ調製スル選舉人名簿  
ニ関スル特例ノ件

今回俄ニ千島五郡ニ行ノ選舉ニ必要ナル選  
舉人名簿ニ付テハ更ニ臨時ノ特例ヲ設ケル  
ノ必要アリ是レ本案ノ規定アル所以ニシテ

十四

即チ所轄支廳長カ名簿縦覧期間ノ開始後ニ  
名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ殘期間之ヲ縦  
覧ニ供スルヲ以テ足り該期間内ニ速ニ名簿  
ノ送付ヲ受ケサルトキハ之ヲ縦覧ニ供スル  
コトヲ要セサルモノトシ戸長カ名簿ニ對ス  
ル異議ノ申立ヲ決定スル期間ハ申立ヲ受ケ  
タル日ヨリ十五日内トシ開票管理者カ各被  
選舉人ノ得票數ヲ選舉長ニ報告スルトキ名  
簿ニ記載セラレタル有権者ノ總數ヲ併セ報  
告シ當選人ヲ決定スルノ資料タラシムハキ

モノトス

按スルニ前ノ二件ハ改正選舉法ト共ニ施行ス  
ハキ常則トシテ制定セララルモノニシテ其ノ  
内容別ニ支障ノ虞ナク又後ノ二件ハ今回ノ總  
選舉ノミニ関スル一時ノ規定ニシテ是レ亦已  
ムヲ得サル措置ナルカ故ニ此ノ四件ハ總テ此  
ノ儘可決セラレ然ルハキモノト認ム  
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正九年三月二日

樞密院書記官長ニ上兵治

十五

樞密院議長公爵山縣有朋殿